

## 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	学校指導課
職	次長兼課長
氏名	江尻 祐子

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>1 学校の教育課程、学習指導、生活指導等に関する方針等を定めるとともに、学校が活性化するための指導・助言・援助を行う。</p> <p>2 特に、本県独自の使命・役割としては、教育に対する県民の関心が高まる中で、教育行政が果たす役割が益々重要となっていることから、令和3年3月に策定した「第3期石川の教育振興基本計画」の具現化に向けて諸施策を着実に推進することにより、教育内容のより一層の充実を図る。</p> <p>3 教員の急速な世代交代の時期を迎える中、全国的に高い水準にある本県の教育力を維持向上していくために、急増する若手教員の早期育成と将来の学校運営を担う中堅教員の資質向上を図る。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>「未来を拓く心豊かな人づくり」を基本理念として、ものづくり産業や高等教育機関の集積、質の高い文化や豊かな自然など、本県の個性とも言える財産を最大限に生かしながら、ふるさとに誇りと愛着を持ち、いしかわの未来を担う人材の育成に向け、具体的な取組を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成</li> <li>・ 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成</li> <li>・ 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり など</li> </ul> <p>採用前の学生から若手教員、中堅教員、退職後の再任教員に至るまで、一貫した教員研修体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員として優秀な人材を確保するため、大学等の養成段階から実践的な指導力を身に付けさせ、即戦力となる人材育成を支援する。</li> <li>・ 採用から10年程度で実践力のある一人前の教員に育てるため、若手教員早期育成プログラムを実施する。</li> <li>・ 県全体の教科指導をけん引する中核的リーダーの養成及び、管理職への登用にむけて必要なマネジメント力を身に付けるための研修体制を構築する。</li> </ul>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①中学生の高等学校進学率	99.4%(4位)	R2 年度	全国上位堅持	R7 年度	石川県新長期構想
①高校生の大学等進学率	56.4%(13位)	R2 年度	全国上位堅持	R7 年度	石川県新長期構想
②授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	71.5%	R2 年度	100%	R7 年度	石川県新長期構想
③高校生の就職内定率	99.8%	R2 年度	100%	R7 年度	石川県新長期構想
④県内公立高校生徒の英検準2級以上合格者の割合 (他の検定での同レベルの者を含む)	-	R2 年度	60%	R3 年度	石川県新長期構想
⑤特別支援学校高等部卒業生の就職内定率	100.0%	R2 年度	100%	R3 年度	
⑥高等学校の中途退学率	集計中	R2 年度	全国平均 (1.40)以下	R3 年度	
⑥いじめ認知件数・不登校児童生徒数	集計中	R2 年度	2,000以下 1,500以下	R7 年度	



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 確かな学力の育成	探究型学習の推進、高等学校の特色に応じた取組の充実、学力調査等による現状把握と指導法の改善 など
② GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上	ICTを活用した授業の推進、教員のICT活用指導力の向上 など
③ キャリア教育の充実	県内の企業等と連携したキャリア教育の充実、時代のニーズに応じた職業教育の充実 など
④ グローバル人材の育成	金沢大学との連携などによる教員の英語力と指導力の向上 など
⑤ 特別支援教育の充実	特別支援学校の教育・機能の充実 など
⑥ いじめ・不登校等への取組の充実	いじめを見逃さない学校づくりの推進、生徒指導体制やカウンセリングの充実 など